

別紙

令和 7 年 1 1 月 1 9 日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長

桑畑 伴子 様

議会報告会 4 班

西尾 段
川本 大岳
鈴木 ゆうすけ
乾 えり
岡 明彦
楠山 栄子
石原 修治

第 2 5 回議会報告会（第 2 部）の概要は下記のとおりでしたので、報告します。

記

1 概要

第 2 部は常任委員会ごとに 4 つの班に分かれて実施されました。都市建設委員会の委員で構成される 4 班では、市民の皆さまから御質問や御意見をいただき、それに議員が回答する形式で進められました。市民の皆さまとのやりとりは以下のとおりです。

前半（市民参加者 6 名、議員 7 名）

（美田在住・女性より）

ぐりーんバスは重宝しているが、最終が 19 時と早すぎるため、元の 21 時頃まで戻してほしい。その方が、おおたかの森で買い物や食事をして帰宅でき、店舗側にもメリットがあると思う。運転士確保の問題はあるが、おおたかの森の土地開発者やテナントにも協力・協賛を求め、運転士を増やすなどの対応を望む。

（議員）

ぐりーんバス（美田・駒木台ルート）は市民が乗らないと廃線となる危機を乗り越え、路線自体は維持の方向である。現在は始発・最終時間の短縮、土日の最終時間の繰り上げ、昼間の時間帯の運休など、徐々に減便が進んでいる。過去には「20 分に 1 本」への増便案が決定されたが、バス会社の運転士不足で対応できず白紙となった経緯がある。減便の傾向は美田・駒木台ルートに限らず、ぐりーんバス全体で最終の便が早くなったり、昼間の便がなくなったりしている。通勤・通学の利用者を増やすため、昼間の利用が少ない時間帯（14 時～16 時頃）を減便し、夜間の最終便を延長する案や、他ルート（江戸川台東ルート）との連携によって昼間を抜く運用が実現した事例を踏まえ、夜間延長の可能性を探ることが考えられる。また、店舗側にメリットがあるという視点を活かし、サブ停留所名（例えば、〇〇商店前）を付けて協賛金を募り、経費に充てることなどの提案もあり得る。

（議員）

美田・駒木台ルートの問題は以前からあるが、変わらない状況が続いている。バス運営は全国的に厳しく、流山市内でも民間バス 2 路線が昨年 10 月に廃止された。行政としては自動運転バスの視察や、グリーンスローモビリティ、デマンドバス・タクシーの導入を検討しているが、交通対策協議会での議論がなかなか進まない。

（美田在住・男性より）

40 分に 1 本では不便で、流山おおたかの森駅まで歩くと 20

分で着くため、ぐりーんバスを利用せず歩いてしまう。本数を20分に1本に増やせば利用者が増えるのではないか。運転士不足への対応として、バス会社に頼らず広く一般から運転士を募集し、テナントから協賛金を集め、事故への保険のみ市が補償する形で既存のバス会社以外が運行する案も検討すべき。勤務時間を固定し、「朝だけ」「夜だけ」など3交代制にする方が働きやすいのではないか。

（議員）

バスは運転士が少ないため、会社任せではなく地域の協力が不可欠である。八木南や流山本町などでは地域の協力で解決しようという動きがある。地域で公共交通委員会を作り検討する方向が現実的かもしれない。グリーンスローモビリティは、時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した移動サービスの方式である。

（議員）

宮園や野々下などからも高齢化に伴うバスへの要望が多い。ぐりーんバスは20周年を迎え、20年前のやり方には限界がある。市と共に新しい体制を検討し、グリーンスローモビリティやデマンド交通について議論を深める必要がある。タクシー会社はぐりーんバスの充実を望まないというライバル関係もあり、乗合タクシーの実証実験が始まる予定だが、地域が一部の役割を担うことが求められている。

（野々下在住・男性より）

数年前に自治会長を務めたが、自治会活動の負担が大きいと感じた。自分の自治会の場合、役職に就いても無報酬であることが現代社会では難しい要因となっている。地域活動はボランティアに依存しているが、共働き世帯など時間に余裕のない状況で無償活動が続けるのは厳しい。労力に対するコストの考え方を見直すべき。

（議員）

自治会は近所付き合いが濃かった時代の形をそのまま受け継いでいる面がある。子育て世帯などが疑問を感じ、担い手不足が

深刻。個人的には「一度自治会をなくすとして何が困るのか」という視点から議論してもよいほどだと考えている。助け合いの精神と担い手不足を両立させる方策は必ずある。

（議員）

流山市には180以上の自治会があり、消滅したところもある。大きな自治会では役員報酬があるところもある。自治会内で、ボランティア精神か、責任と報酬かをよく話し合うべきである。行政も、自治会に担ってもらっている業務を簡略化し負担を減らすことを考えるべき。自治会フォーラム等で他地域の事例を知ること重要である。

後半（市民参加者6名、議員7名）

（南在住・男性より）

おおたかの森の道路改修工事について、予算に賛成した議員が決算審査で反対意見を述べたことに疑問がある。過去にも、おおたかの森小学校建設に賛成した議員が辞職後に「反対だった」と発言した例がある。

（議員）

疑問を持つのはもっともだが、決算は複数の事業を含む総決算に対して「賛成」か「反対」しか表明できない。全体には賛成だが一部に問題がある場合、討論で反対意見を述べる以外に方法がないという制度上の課題がある。

（西深井在住・男性より）

自転車ヘルメット着用促進について、以前複数の議員が一般質問で取り上げたが、その後の展開がない。市民は髪型や汗を理由に着用しないが、努力義務化（道路交通法改正）は罰則がないだけで「着用に努める」点は同じであり、議員自身が交通指導などでヘルメットを着用し、市民に意識付けを行うべきである。ヘルメット、カッパ、ライトは必ず守らせてほしい。雨の日の傘差し運転や高齢者の安全にも関わるため、命の問題として取り組んでほしい。

また、都市計画課で販売されている１５００円の都市計画図に重大な誤りがある。市街化地区の状況を示す凡例で、「市街化地区」と書くべきところが「市街化調整区域」と誤記され、記載が逆になっている。中学生レベルの誤りで非常に恥ずかしい。以前にも同様の間違いを指摘し還付となった経緯があり、市のチェック体制が問題である。

（議員）

誤りに気づかなかったことは恥ずかしい。図面を預かり所管部署に確認し、次回作成時には修正を求める。

（江戸川台・男性より）

江戸川台駅東口の再整備事業の進捗と見通しについて知りたい。また、地区計画で定められている最低敷地面積（１００坪弱）が若い世代の住宅取得を妨げていると感じており、地区計画の変更はできないのか。

（議員）

松ヶ丘の例では、地区計画の変更には地区住民の８０％の賛成が必要で、非常に難しい。江戸川台も同様の規定があると思われる。

（議員）

江戸川台西口の地区計画では「１３５㎡以下には割れない」という規定があり、実質１００坪弱の土地を分割できない。当時はアパート建設を防ぐ意図があったと考えられるが、現在は空き家の増加など新たな問題も出ている。状況変化を踏まえ、自治会などで緩和・撤廃を提案すれば賛同者が増える可能性がある。

（西深井在住・男性より）

議員は「議員必携」の精神に基づき真摯に職務を果たすべきである。居眠り議員や、少年消防団で本物の消火器を使用させるなど危険を助長する安易な提案をする議員がおり、議員の質が低い。

市職員についても、戸籍副本の取得に関する誤答や、公用車の横断歩道上での停車、制限速度超過などの交通違反の報告があり、意識が低すぎる。人材育成課の教育体制が問題である。市の人件

費適正化計画は単なるコスト削減ではなく、適正な人員数になっているかを議会で取り上げるべきで、近隣市との比較では職員数が少ないと感じる。職員のモチベーション向上のためにも、部署・ポストを増やすなどの検討も必要である。

また、カーブミラーの番号が手書きで判読できない、住所が書かれていないなどの不備があり、警察対応に支障をきたした例がある。松戸のようにプレートで番号を記載するよう提案すべき。暗いエリアでは、個人的に畑所有者の許可を得てソーラーライトを設置した経験もある。

（男性より）

総合防災訓練（東部会場）をさらに盛り上げてほしい。南部会場で好評だったブース展示を増やし、近隣住民が楽しめる内容にすべきである。訓練の様子（特にドローン映像など）を市民が間近で見られる工夫も必要。

（南在住・男性より）

街路樹は落ち葉の掃除の手間があり、増やすことには慎重であるべき。枯れないようにするシートの使用や、落ち葉が燃えない素材を用いるなど維持管理の工夫も必要だが、不要と考える意見もある。

2 所感

（西尾 段）

第2部の前半、後半ともに6名程度の参加だった。30歳代くらいと思われる若い市民から70歳程度と思われる高齢者まで幅広い年代の方の参加があった。また、今までの議会報告会に良く参加なさる方は半分以下で新しい参加者が多く居たことは開催方法を変更したことによる効果かも知れないと感じた。ぐりーんバスや自転車ヘルメット、都市計画図、江戸川台駅東口再整備、カーブミラー、総合防災訓練等、幅広い話題が出て市民の声を聞くとともに議員からもある程度詳しく回答ができたので有意義

だったと思う。議会広報広聴特別委員会の委員の皆さんが準備、段取りしてくださって変化したことが功を奏したと受け止めている。

（川本 大岳）

昨年引き続きワールドカフェ方式で実施された第2部では、ぐりーんバスの運行や自治会運営に関するお悩み・改善提案、江戸川台のまちづくりへの御質問、さらには議員の働きぶりや市の業務遂行への厳しい御指摘など、多岐にわたるお声をいただきました。

こうしたお声をまずは真摯に受け止め、市や地域にしっかり届け、より良いまちづくりのために行動していくことの大切さを、改めて気付かせていただきました。このような貴重な場である議会報告会に御参加いただき、率直な御意見をお寄せくださった市民のみなさまに、心より感謝申し上げます。

（鈴木 ゆうすけ）

・市民の関心、特に御高齢の方からは地域の足に関する要望をお聞きできた。議員からはバス会社や財政の課題があり、市民協働の解決手段としてグリーンスローモビリティを提案するなど、市民と解決策を模索することができた。しかし、なり手不足などまだまだ課題は多いため、今後の研究が必要であると感じた。

・市民の自転車の運用ルールについて、議員も努力義務をしっかり守る姿勢を見せたり、まちで交通安全のために活動している議員は自転車走行時のヘルメット着用や雨天時の傘の使用禁止などについて、市民へ守るよう呼びかけをして欲しいとの要望があった。議会でのこの課題については共有する必要があると感じた。

・一部議員の居眠りなど、議員の意識の低さに対する御指摘をいただいた。今後議会運営委員会などで対策を協議し、また各議員がより一層日々研鑽を積む必要があると強く感じる。

（乾 えり）

第2部は、昨年と比べ、部屋が別々になったので声が混ざるなどがなく、環境はよかったですと思いますが、市民からすると、オー

ブンな感じでなく、入りにくかったかもしれません。

出された意見として、地域交通、自治会などの担い手問題は、議会でも度々取り上げられており、難しい課題ですが、引き続き議論が必要と感じました。

議会に対する厳しい御意見もあり、受け止めますが、個人攻撃的になったのは残念でした。

委員会室を使うことで、事前の準備が大変だったと思います。準備された皆様、ありがとうございます。それも含め、机椅子の配置換え・片付けなどが大変で、委員会室を使うにはそこが課題と思いました。また、以前は各地の公民館などでやっていたため、近隣市民が参加しやすいというのはあったと思います。1か所にすることで参加しにくくなった市民もいるのではないのでしょうか。

（岡 明彦）

議会報告会第2部においては市民の方から公共交通の課題について、特にぐりーんバスの減便等について質問が上がり、市民の足の確保に関しては改めて取り組みが必要であると感じました。また、自治会の運営に関してや江戸川台駅東口地域の再整備等、様々な視点からの質問をいただき、課題意識を強く持てた良い機会となりました。都市計画マップや公共交通マップ等への記載の指摘もありましたので、これらについてもそれぞれの担当課での対応を含め確認が必要であり今後も注視して参りたいと思います。

（楠山 栄子）

今回の議会報告会は、昨年度の「全議員一堂に会し、ワールドカフェ方式で市民の皆さまと意見交換を行う」という新しい試みを踏まえ、その反省点をできる限り改善した形での開催となりました。

昨年度は、同一会場内で4つのグループが同時進行したため「声が聞き取りにくい」「補聴器では雑音がつらい」といった御意見を多くいただきました。今年度は、マイク・机配置・進行方

法を工夫し、一つひとつの発言をできるだけ聞き取りやすくすることに力を入れました。まだ十分とは言えない部分もありましたが、「昨年より話が入ってきやすかった」と改善の手応えを感じています。

市民との意見交換会では、議員と市民が対立するのではなく、「どうすればより良くてできるか」を一緒に考えようとする、穏やかで建設的な対話であったことが印象的でした。議会報告会が回を重ねる中で、市民と議会の関係が少しずつ成熟してきていることを、あらためて強く感じました。

議会主催の報告会は、まだまだ工夫の余地が大きく、会場選定（駐車場や公共交通の利便性を含めて）も含めて、次年度に向けた宿題として受け止めています。

今回頂戴した一つひとつの御意見は、今後とも、「議会が市民に開かれた場であり続けること」「市民とともに課題解決の道筋を探ること」を大切にしながら、丁寧な対話を積み重ねていきたいと思います。

（石原 修治）

昨年同様に全議員参加にて市役所4階で開催されたことは画期的であり、普段議場等に来る機会が少ない市民の方々に見ていただいたことに大きな意味があると感じた。第1部「議会って何してるの？議員の仕事って何？」、第2部は4つのグループ（各常任委員会）に分かれ、参加者の方々の地域に関する課題などについて、自由闊達に意見交換することができた。また、リラックスした雰囲気です少人数で輪になって意見交換する手法（ワールドカフェ方式）は効果があったと考える。